

## 松本 和彦

### 高等司法研究科・教授

#### 【研究】

本年度から科研費基盤研究(C)「環境リスクマネジメントの公法学的基礎理論研究」を開始した。以前より、憲法と環境法の2つの法領域を架橋する研究を継続しているが、これもその一環である。本年度は、このプロジェクトとの関係で、比例原則・予防原則・平等原則の位置づけを探る研究を行い、その一部を日本公法学会の総会で報告した。また、民主主義論について検討を始めるとともに、その成果の一部を論文やシンポジウム報告の形で公表した。この他、3人の日本人憲法研究者と共同で、最新の憲法判例の検討を行い、法律雑誌「法学教室」の場を借りて、判例評釈の形で公表する企画を継続中である。

#### 【教育】

高等司法研究科、法学研究科、法学部のいずれにおいても憲法と環境法の授業を行った。高司の「憲法応用」の授業では、TAの助けを借り、毎回、授業前に検討会、授業後に反省会を行って、教育内容の改善に努めた。幸い、学生アンケートの結果も好評で、優秀教員として表された。また本秋から関大との共同企画「連携講義(憲法発展演習)」を開講し、その取りまとめを担当した。その成果は法律雑誌「法学セミナー」で披露することになっている。法研での特別講義「現代憲法理論」でも、同僚の憲法研究者の協力を仰ぐとともに、研究会方式の実験的授業を行った。

#### 【管理運営】

高等司法研究科における管理運営担当の副科長を務めた。これとの関係で計画室の室長を務めた。部局内では、ほかに情報マネジメント室員、部局情報セキュリティ委員会委員、国際交流室員を務めた。また、全学に関しては、建設コンサルタント選定委員会委員、総合評価審査委員会委員を務めた。

#### 【社会貢献】

大阪市・個人情報保護審議会では会長として、高槻市・情報公開審査会、個人情報保護審査会、行政不服審査会でも会長として、大阪市・ヘイトスピーチ審査会では委員として、当該条例の運用に携わった。また、法科大学院認証評価機構の専門委員や国家公務員総合職試験の考査委員を務めた。環境省委託の世界環境憲章検討会でも専門委員を務めた。

#### 【特記事項】

学内では、SSI(Social Solution Initiative)のユニット活動に従事した。社会科学系5部局で組織したWGメンバーとして報告書を作成した。法研との共同企画「AIネットワーク時代に向けた法政策の在り方」シンポジウムに報告者として参加した。